

県身協だより

第1号

平成25年7月1日発行



今号の一枚

北海道会員旅行にて（5/27～30）

もくじ

- ・新法人「一般財団法人」へ移行 P1
- ・平成24年度 事業報告と収支決算について P2
- ・平成25年度「公益目的支出計画」 P3
- ・県知事要望について P4
- ・障害福祉に係る研修会の開催について P4
- ・編集後記 P4

新法人「一般財団法人」へ移行

一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会
会長 前田 保

この度、平成25年4月1日より「一般財団法人」に移行しました。団体の名称も「青森県身体障害者福祉協会」と改称しました。

財団法人青森県身体障害者福祉団体連合会として、昭和45年8月5日に設立し、42年の歴史を歩んできました。当時は、傷痍軍人の方々が役員になり、団体運営の議論が激しかったと聞いています。また私自身も、そういう場面を見てきました。

私が県身連の理事になったのは、昭和50年です。県身連の中に青年部を作ることになり、初代部長となったその時から、県身連とはずっと関わりがあります。青年部結成10周年を記念して、青函連絡船を200万円で貸切りにしたこともありました。歴史を振り返ると、さまざまな出来事が思い出されます。しかし、時代が変わり、世代も変わってきました。これからは、若い世代の出番であると思っています。

新法人がスタートした今、障害当事者は、他人まかせでなく、新しい事業の発掘や社会参加を行い、障害者も積極的に参画し、考えなければなりません。県内市町村福祉会のリーダーの皆さんも、リーダーとしての条件というものを、この節目の時に、しっかりと考えていただきたい。例えば、組織の代表（会

長）一人で、事務局も会計も担当している福祉会もある、と聞いています。それから、行政（役場）との溝が深く、コミュニケーションがとれていないという事は、あってはならない事です。

42年前に、法人がスタートした時の初心に帰って、それぞれの組織運営を点検し、前進していただきたい。そのためには、県身協も労を惜しまないつもりです。

「法人の移行について」

「財団法人青森県身体障害者福祉団体連合会（県身連）」は、平成25年度より「一般財団法人青森県身体障害者福祉協会（県身協）」へ移行しました。

平成23年度から一般財団法人へ移行することを機関決定し、主務官庁である青森県と移行認可へ向けて協議を続けてきましたが、ようやく平成25年2月の移行審査会で「認めることが適当である。」との答申をいただきました。

3月19日付けで県知事の移行認可書をいただき、4月1日付けで設立登記を行いました。晴れて一般財団法人に移行した訳ですが、公益法人から一般法人へ移行したからといって、公益性のある事業を行わなくなるのではなく、これまで以上に積極的に公益目的事業を実施して、社会福祉の一翼を担って参ります。

発行者

一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会 〒030-0122 青森市大字野尻字今田52-4
TEL:017-738-5059 FAX:017-738-0745 E-mail:aoshinsyou@nemunoki.jp

平成24年度 事業報告と収支決算について

去る5月11日に第1回理事会において、また5月26日の第1回評議員会において、下表のとおり、平成24年度の事業報告と収支決算が承認されました。

平成24年度 一般会計(県身連法人会計) 収支決算書

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1 事業活動収入				
(1) 会 費 収 入	2,265,000	2,265,000	0	未収金216,000含む
(2) 補助金・委託金等	11,932,823	11,982,823	▲ 50,000	全国障害者スポーツ大会等
(3) 寄 付 金 収 入	400,000	329,000	71,000	日身連収益事業
(4) 諸 収 入 金	395,000	336,390	58,610	駐禁除外標章手数料等
(5) 基 金 繰 入	3,677,000	3,640,458	36,542	福祉創成基金・障害者ス ポーツ振興基金取崩し
(6) 退職積立金繰入	213,920	213,920	0	
収 入 合 計 (A)	18,883,743	18,767,591	116,152	
2 事業活動支出				
(1) 運 営 費 支 出	3,307,920	2,180,576	1,127,344	
人 件 費	1,000,000	154,000	846,000	アルバイト賃金
会 議 費	300,000	264,400	35,600	
事 務 費	774,000	571,256	202,744	事務用品・役務費等
退 職 金	213,920	213,920	0	職員中途退職
諸 支 出 金	1,020,000	977,000	43,000	日身連負担金等
(2) 事業費支出	15,575,823	14,452,574	1,123,249	
一 般 事 業	3,713,000	2,589,751	1,123,249	
県身障福祉大会費	300,000	300,000	0	
青年部会対策費	50,000	40,000	10,000	
広 報 費	250,000	221,364	28,636	
全国会議等派遣費	300,000	315,160	▲ 15,160	
6地域福祉協議会	300,000	300,000	0	
市町村活動費	136,000	108,288	27,712	
地域福祉リーダー等研修会	50,000	120,000	▲ 70,000	
ねむのき祭り開催事業費	50,000	44,211	5,789	
障害者社会参加促進事業	1,937,000	837,270	1,099,730	
身障スポーツ基金運用事業	340,000	303,458	36,542	
補 助 事 業	10,866,223	10,866,223	0	全国障害者スポーツ大会
委 託 事 業	996,600	996,600	0	障害者スポーツ特別振興事業
(3) 基 金 戻 入	0	1,945,730	▲ 1,945,730	
支 出 合 計 (B)	18,883,743	18,578,880	304,863	
当期収支差額(A)-(B)	0	188,711		
前期繰越収支差額		1,229,590		
次期繰越収支差額		1,418,301		

※収入の部の差異の▲印は収入増を示し、支出の部の差異の▲は支出増を示す。
予算額は現計予算（補正予算）を示す。

平成25年度 「公益目的支出計画」

平成25年度の事業計画と収支予算については、先に24年度の最終理事会・評議員会で決定されていますが、一般会計の内、公益目的事業に関する支出計画に関しては、5月11日の第1回理事会で承認された後、2週間の開示期間を置いて、5月26日の第1回評議員会においても承認されました。

公益目的支出計画とは、公益法人のときに蓄財した正味財産を公益目的事業（ひろく県民のために行う事業）を実施して、消費する計画であり、本法人の平成25年度の公益目的支出計画は下表のとおりです。

平成25年度 公益目的支出計画

○収入の部

(単位：円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減	備 考
会 費 収 入	326,000	86,000	240,000	会費収入の一部を充当
補 助 金	7,238,000	10,866,223	▲3,628,223	
全国障害者スポーツ大会等派遣事業費補助金	7,238,000	10,866,223	▲3,628,223	東京大会
配 分 金	230,000	70,000	160,000	共同募金会配分金
福祉事業創成基金繰入収入	2,737,000	3,337,000	▲ 600,000	
障害者スポーツ振興基金繰入収入	540,000	340,000	200,000	
合 計	11,071,000	14,699,223	▲3,628,223	

○支出の部

(単位：円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減	備 考
運 営 費	220,000	220,000	0	
負 担 金 ほ か	220,000	220,000	0	日身連・県社協・ブロック連絡会費
一 般 事 業 費	3,613,000	3,613,000	0	
県身体障害者福祉大会開催費	300,000	300,000	0	開催市実行委員会へ助成
広 報 費	250,000	250,000	0	
全国会議等派遣費	300,000	300,000	0	
地域福祉協議会活動費助成	300,000	300,000	0	
市町村活動費	136,000	136,000	0	
ねむのきまつり開催費	50,000	50,000	0	
障害者社会参加促進事業	1,737,000	1,937,000	▲ 200,000	福祉創成基金を充当
地域福祉支援事業	530,000	530,000	0	
障害者福祉研修事業	835,000	835,000	0	
東日本大震災対策事業	372,000	572,000	▲ 200,000	
障害者スポーツ団体支援費	540,000	340,000	200,000	身障スポーツ振興基金を充当
補 助 事 業 費	7,238,000	10,866,223	▲3,628,223	
全国障害者スポーツ大会等派遣事業費	7,238,000	10,866,223	▲3,628,223	
合 計	11,071,000	14,699,223	▲3,628,223	

※平成24年度予算は、補正後の現計予算額

県知事要望について



先に平成24年10月14日に開催した青森県身体障害者福祉大会（平川大会）での大会提出要望事項を、去る平成25年1月16日に青森県知事要望を行いました。

当日は、健康福祉部長室で前田会長より江浪武志健康福祉部長に対し、5項目にわたる要望書を手交しました。

冒頭、前田会長より昨今の障害者福祉をめぐる状況をみると、障害当事者が参画して検討をおこなった結果である「骨格提言」が「障害者総合支援法」に十分反映されていないことや、個人情報保護法等がネックとなって身体障害者相談員の活動が停滞している現状などの説明がありました。

江浪部長からは、「障害当事者の声として、重く受け止める。」とのお言葉がありました。災害時の障害者対応については、市町村と機会をとらえ意見交換していく。人工透析患者の緊急時対応については、同行した青森県腎臓病患者連絡協議会事務局長のお話を踏まえ、県立中央病院とも議論したい。地域の身障団体活動の低迷に関しては、官民を含めて地域福祉をどうするのか、共に考えていきたい、とのご回答をいただきました。

大会提出要望事項

	標 題	要望事項説明
1	障害者権利条約の批准について	今後とも、障害者制度改革が着実に促進されるよう、障害者総合支援法をはじめ障害者福祉に係る国内法制の整備・充実を期待する。
2	大地震をはじめ災害時における障害者に対応した防災対策について	災害弱者である障害者に対応したきめ細かい防災対策を講じていただきたい。
3	人工透析患者が緊急時に識別され、適切な対応が講じられるような体制づくりについて	人工透析患者などの内部障害者が災害時や救急時に適切な処置が受けられるようなシステムを構築していただきたい。
4	地域における身障福祉会活動の活性化に向けての強力な支援について	行政や地域社会福祉協議会などの関係団体の支援をいただき、地域福祉の充実を図りながら、市町村身体障害者福祉会の活動が活性化されることを期待する。
5	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館の改築及びねむのき会館事業の充実について	障害者の社会参加の拠点である「ねむのき会館」の老朽化に対応した改築と、ねむのき会館事業の充実を図っていただきたい。

障害福祉に係る研修会の開催について

県身協では、会員はもとより県民の皆様に対し、障害福祉に係る情報を提供するため、公益目的事業として、平成23年度より研修会を開催しています。

今年度は、第1回目を7月27日（土）に、青森県障害福祉課の菊地課長をお迎えして「青森県における障害者福祉の動向」と題して、講演いただくこととなりました。

以降、順次皆様の関心が深いテーマを取り上げ研修会を実施することとしております。

<第1回研修内容>

テ ー マ	『青森県における障害者福祉の動向』
講 師	青森県健康福祉部障害福祉課 課長 菊地 公英氏
開催日時 開催場所	平成25年7月27日（土） 15：00～16：30 青森県身体障害者福祉センターねむのき会館
備 考	・公益目的事業の一環として実施 ・「ねむのき夏まつり」と併催 ・県身協リーダー研修に位置付け

編集後記

平成24年度から25年度にかけて、大変あわただしい時間が流れました。
昨年度後半から、公益法人から一般法人へ移行するための準備に腐心し、ようやくこの25年2月に移行認可の目途がたちホッとした一方で、昨年度に引き続いての大雪と春先の天候不順に悩まされました。
また、今年3月11日には東日本大震災から2年目を迎えることとなり、災害に遭われた方々のご苦労と悲しみはいかばかりかと察するに余りがあります。
まだ、「一般財団法人青森県身体障害者福祉協会」、略して「県身協」と呼ぶ時にためらいがありますが、機動力のある障害者団体として、障害者の社会参加と権利擁護の諸事業に取り組んで参りますので、よろしくご支援をお願いします。

事務局長 大 池 謙 一